

に11組が登壇!!

元気なおじいちゃんおばあちゃん
を増やそう!



かのう みのま
加納 稔麻さん
かのう はなさん
加納 はなさん

短命県は①肥満率が高い②喫煙率、受動喫煙率が高い③健診率が低い。長寿一位の県では①減塩②禁煙③縁つながりの三つのえんに取り組んでいる。縁つながりは大事であり、私たちも取り組む。

食品ロスを減らしながら幼児に食育
するには



やさわ りな
八澤 理南さん

農家と幼稚園との間をとります仲介者を設置すること。農家は廃棄する野菜を販売することができ、幼稚園では地元食材を使った食育にもつながる。

日本の医療課題



ささき えいし
佐々木 栄一さん

人手不足解消のためのAIロボット導入の提案。患者さんのことを考えれば、基本は人が対応すべきであり、AIロボットは補完的に考える。

去る7月21日(日)本会議場で町民一日議会を実施しました。
町内在住者11組の方より、それぞれのテーマで提言を受けました。

地域とのつながり



たけち ののか
武智 和花さん
みやざき ちはる
宮崎 千晴さん

高校生ができるつながり。空き家を使ったカフェ(お菓子作り)、子どもたちとの遊び会(クリスマスパーティー)など新たなつながりの大切さを知ってもらった。私たちが引き継ぐまで地域のイベントを守ってもらいたい。

奥出雲町で目指すゼロカーボントウン



ふじた みつき
藤田 光絆さん
ほそかわ みな
細川 美那さん
きっかわ あきたか
吉川 堯朗さん

小中学校を訪問し児童生徒に、電力の供給状況や二酸化炭素排出量が増加している状況等を話し、①省エネ対策②再生可能エネルギーへの取り組みの必要性を伝えたい。

町の未来へ

町民一日議会

奥出雲町にある専門学校に進学する (卒業後定住する) ための最低条件



やまなか たかし
山中 崇史さん

入学後の生活費や学費を工面するためアルバイトを必要とする学生が多く、町内での住居とアルバイトがあれば募集しやすい。町内での就職は情報通信人材等を必要とする企業があれば良い。

2030年島根かみあり国体における ホッケー選手育成について



いとう あゆき
伊藤 歩輝さん

小学校高学年を対象に三つの取り組みを行っていききたい。運動機能の簡易チェックとその結果をフィードバックする。結果に基づいたトレーニングを行う。少しでも多くの児童にホッケーに触れてもらい機会拡大を図っていききたい。

オーガニック（有機）給食について



いとはら だいじろう
糸原 大二郎さん

子どもの発達障害は、ここ10年で10万人増加している。要因として除草剤（グリホサート）や殺虫剤（ネオニチノイド）が体内に蓄積するといわれている。オーガニック（有機）給食をスタートしてはどうか。

相談職と奥出雲町



わたなべ はるか
渡部 遥栞さん

奥出雲町では、相談職が不足している。いつまでも健康に過ごすためにはカウンセリングの受診率の向上が必要。カウンセリングにより心の調子が整い、いつまでも健康に過ごせるのでは。

女性重視の町づくり



うちだ こうじ
内田 耕司さん

少子高齢化が進む奥出雲町において、どんな町が住みやすいか検証（広報）することが必要。女性の社会的地位向上のためには、クォータ制度（女性の定数、割合を決める）の導入を。

住んでいる私たちだからこそわかる魅力



たかき ゆな
高木 結菜さん
たにぐち まな
谷口 愛奏さん
ふじはら えいこ
藤原 英子さん

私たちが伝えること、住んでいる私たちだからこそ分かる奥出雲町の隠れた魅力を「奥出雲 book」としてまとめ、観光地や飲食店にこれを置き観光誘客につなげる。